

## 櫻井賞

平成 24 年度櫻井賞第 40 回受賞者

長瀬 敏郎 会員

(東北大学学術資源研究公開センター総合学術博物館)



1965 年 9 月 16 日生まれ。1988 年 3 月東北大学理学部地学専攻卒業，1990 年 3 月東北大学大学院理学研究科博士前期課程修了，1998 年 3 月東北大学理学博士取得。1990 年 4 月日本板硝子（株）研究員，1991 年 4 月東北大学理学部助手，1998 年 4 月東北大学総合学術博物館助教授，2006 年 4 月東北大学学術資源研究公開センター助教授（准教授），2013 年 9 月現在に至る。

対象鉱物：田野畑石

T. Nagase, H. Hori, M. Kitamine, M. Nagashima, A. Abduriyim and  
T. Kuribayashi:

Tanohataite,  $\text{LiMn}_2\text{Si}_3\text{O}_8(\text{OH})$ : a new mineral from the Tanohata mine, Iwate Prefecture, Japan. *Journal of Mineralogical and Petrological Sciences*, Vol. 107, 149-154 (2012).

推薦理由：

長瀬敏郎会員は、透過型電子顕微鏡（TEM）を用いて、鉱物の微細組織などの研究に優れた業績を挙げている。最近発見される微細な新鉱物に対して、TEM によるデータ解析が極めて有益となっている。この手法を活用して、岩手県田野畑鉱山から産出したセラン石のリチウム置換体である田野畑石を新鉱物として記載した。田野畑鉱山のマンガン鉱物類には、リチウムを含むものが多く、本鉱物の発見は、変成マンガン鉱床生成におけるリチウムの地球化学的挙動を考える上での重要な材料の一つとなる。

長瀬会員は、これ以外にも、島崎石など複数の新鉱物記載の共著者として活躍している。櫻井賞選考委員会は、これらの貢献も考慮して、長瀬敏郎会員を平成 24 年度櫻井賞（第 40 回）受賞者として推薦するものである。